



輝け！中央っ子

校訓（やさしく かしこく たくましく） 令和2年5月7日（木）

今年度のテーマ （好きです 中央）

2号（文責）山口 公敏

【学校教育目標】

あいさつ、そうじ、発表 そして笑顔 一人ひとりを大切にする 強くやさしい 中央っ子の育成



学校再開を待っている学校



4月13日（月）の下校の様子

学校からのメッセージ

児童の皆さん、こんにちは。3月からの休校、そして学校再開後の再休校、さらに5月中の休校を余儀なくされています。本当に皆さん始め、おうちの方々にも大変ご苦労をおかけしています。しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、引き続き三密「密集・密閉・密接」を守り、マスクの着用、換気、手洗いうがいの励行、不要不急の外出を避けましょう。また、この生活を守っていただいている医療従事者の方々を初め、多くの方々への感謝も忘れないで下さい。

さて、今回の休校に際して、先生方は知恵をしばり、家庭で計画的に学習ができるようなプログラムを組みました。1週間分の学習計画ですが、自分なりに計画を立てて家庭でできることをやってみましょう。学習していないところでも、興味を持って取り組むことで、6月からの学校再開に向けて、スムーズな接続ができると思います。「ピンチはチャンス」という言葉があります。この状況を皆さんはどう思いますか。学習はやらされるものではありません。自ら学ぶものです。もちろん学校で教えるべきものが多くあることは分かっています。しかし、現在の状況をチャンスととらえ、自ら学ぶ主体的な学びへと考えをもつことは、「自立」への第一歩です。ぜひ、自分なりのスタイルで学びを深めて下さい。先日のテレビで、サッカーの中田選手は、「なぜ、どうしてを大切にして下さい。たくさんの時間を自分なりの発見の時間にしたら多くのことを学べます。」とおっしゃっていました。また、水泳の池江選手は、「長い長いトンネルだけど、出口のないトンネルはない。」ともおっしゃっていました。

皆さん、明るい希望を胸に抱き、5月という期間を充実したものにしましょう。

【お知らせ】 本日、電話相談窓口の紙（別紙）をP数配付しています。学校で困っていること等あった場合の相談窓口です。学校でもかまいません。早めの解決を心がけています。一人ひとりの子どもたちが安心できる学校を目指していきます。